

地域に根ざした施設を目指す

触れ合って

絆の杜

支えあって

第 35 号 平成 24 年 11 月 28 日

発行所

社会福祉法人 光道園

鯖江 福井県鯖江市和田町 9-1-1
TEL (0778) 62 - 1234 (代)
FAX (0778) 62 - 0890

朝日 福井県丹生郡越前町朝日 22-7-1
TEL (0778) 34 - 1220 (代)
FAX (0778) 34 - 2099



琉球料理を堪能した後、民族衣装や首かざり、かぶり物に触れ、形を確認し、思い描いている様子です。
(療護二課 沖縄旅行 関連記事は 7 ページ)

主な内容

新理事長 就任のごあいさつ…………… P2

慰問・寄付…………… P3

一緒に「喫茶」を楽しみませんか… P4

家族が最期を迎えようとした時の家族への思いと決断… P5

いそとりどり棟活動…………… P6

めんそーれ！十年ぶりの沖縄…………… P7

オカリナ演奏ボランティア…………… P8

手作り工房 フ・クレール…………… P8

ふれあい交流 ミックバラーズ特集… P9

全国郷土料理の日…………… P10

「俺たちの夏」野球部発足 10 年を迎えて… P11

のぞみ工房 陶華星 干支製作… P11

開運干支『夢巳』…………… P12



就任のごあいさつ

理事長 藤本 武司

平成二十四年九月十八日の理事会において役員改選が行われ、園理事長の後任として理事長に就任することになりました。甚だ非力の身ではありますが、この大役をお受けいたしましたうえは、法人事業の発展に努力を重ねたい所存でございますので、何卒役職員の皆様を始め、ご関係の皆様のご指導・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

園長先生が、三・四人の入園者に囲まれて何か話をして居られたお姿を拝見した記憶があります。残念ながら、直接お話しを伺ったことはありません。

その時に、両手に障害を持った女性の入所者の方が、両足を使ってネクタイを縫製されている姿を拝見して、非常に強烈な印象を受けた記憶が、今もありありと残っています。

ご推薦を頂きました折には、私のような者に果たして勤まるかどうかと心配いたしました。長い間、役所に勤務させて頂き、市民の皆様方大変お世話になりましたので、微力ではありますが、少しでもお役に立つことが出来ればと思います。

私と光道園との関わりは、市の広報事務を担当した時に訪問したことが始まりです。丁度、光道園が福井市から鯖江市石田上町へ移転して来た頃だったと思います。当時の中道

さんから、後を引き継いでくれないかとの言葉を頂いた時、私は何か因縁めいた感じを感じました。

さて、これからの時代、福祉の分野にとっては、仲々大変な時代であると思います。超高齢化社会の到来で、支えてもらうお年寄りがどんどん増えて、支える側の若い人の負担は増大するばかりです。

福祉関係の業務に就こうという若い人は少なく、むしろ敬遠される傾向にあると、若い労働力が確保出来ない事は大きな問題であると思います。光道園の場合は、歴史的にも又規模的にも大手事業所の部類だからとは思いますが、傾向としては例外ではないのではという現実もあるようです。

「企業は人なり」とよく言われますが、企業ならずともすべて組織体は、それを支える職員、従業員によって左右される要素は大きいと思います。今後とも若い優秀な職員さんを

確保できる様、職場環境や待遇改善を図ってゆくことに力を尽くすことも大きな課題であると思います。

さて、光道園は今年で創立五十五周年を迎えております。永年にわたリご活躍いただきました園前理事長さん始め、役職員の皆様のご尽力で、すべての施設、設備が新しく整備され入所者の皆様に充実したサービスが提供されています。今後とも職員の皆様のご熱意で、更に向上発展させるべく努力を重ねてゆきたいと思っています。

また、今年度は新規事業である地域移行への取組みとして、ケア・グループホームと就労支援事業所の建設工事に着手しました。越前町朝日一丁目、旧朝日町西田中駅の近くです。これまでの施設の中でのケアから離れて、地域の中で仲間と暮らし生活の場と隣接して働くための支援の場を通して、出来るだけ自力で自立の生活を体験し、社会参加の道を探ろうとするものであります。

この事業に深いご理解を頂き、この施設の立地を受け入れて頂きました地元の皆様方に、心からの感謝を申し上げます。今後とも暖かいご支援を下さいますようお願い申し上げます。

これまでの施設内で行なわれて来た障害者福祉の大きな方向転換である地域（在宅）福祉の前途には、色々な課題が多くあるのではと思われま
す。然し、避けては通れない道でも
あろうかと思われまですので、先進的
に取組んでおられる事例研究など通
じて、是非とも安定経営の道を探究
してゆきたいと考えています。

この事業を早期に軌道に乗せるこ
とが当面の大きな課題であります。
役職員一同心を合わせて取り組んで
まいりたいと思っておりますので、
関係各位の更なるご支援をお願い申
しあげます。



演芸慰問

平成二十四年十月三十一日（水）、
光道園朝日事業所・交流ホールにお
いて、越前町婦人福祉協議会の皆様
の演芸会が開催されました。

毎年、越前町各地区の皆様がご来
園されて演芸を披露されておられま
す。この日も光道園のお年寄りの利
用者の方々が演芸を楽しみました。
踊りに合わせて手拍子を打ったりし
て和やかに鑑賞されていました。

最初は華やかなフラダンスから始
まり、吟舞や民謡踊りなど約十曲が
あり、最後に「炭鉱節」を会場の皆
さんと一緒に賑やかに踊りました。
楽しいひと時をありがとうございました。



朝日区の皆様よりご寄付

平成二十四年十一月一日（木）、越
前町朝日区の皆様から光道園にご寄
付いただきました。

このご寄付は、平成二十四年度朝
日区リサイクルバザー収益金とのこ
とです。

朝日区の皆様の善意の気持ちと一
緒にいただきました。朝日区の皆様
の温かいお気持ちを大切にして有意
義に活用させていただきます。本当
に感謝いたします。



そば打ち慰問

平成二十四年十一月四日（日）、毎
年恒例となっている、鯖江市丹津町四
丁目壮年会の皆様がそば打ちに来て
下さいました。このそば打ち慰問は、
昭和五十五年から現在まで三十二年
間続いています。

全ての材料を持参され、手慣れた
そば打ちと、だしは大根おろしの汁
と醤油で作っていただきました。利
用者の方も参加され、そばを延ばし
たり切るなどの体験をされたり、見
学されたりして楽しめました。約
五百食分のおろしそばができました。
利用者の皆様が食べられました。終了
後、「また来年も来ますね。」と笑顔



でお帰りに
なられ利用
者、職員と
も最後まで
心が温まる
思いでお見
送りさせて
頂きました
た。本当に
ありがとうございました
ございました。



一緒に「喫茶」を楽しみませんか

光が丘ワークセンター（セルフ二課）

宮本 智秋



光が丘ワークセンターでは今年度から、月曜日から金曜日の夜七時から八時まで、食堂を利用して「喫茶」を始めました。それまでは、夜、事務所に利用者の方が訪ねてきて、夜勤者とおしゃべりなどをしてお茶会をしていました。しかし、それはいつも決まった一部の利用者だけでした。本当はもっと職員と話したい利用者の方もあるのではないかと、そして、飲み物も色々な種類を提供したい、事務所では狭いので、食堂を利用してテレビや音楽を流して、「喫茶」として試行的にやってみようという事になりました。

また、今年度の光が丘ワークセンターの重点目標の一つに、①夜勤業務の見直しとして、夜勤業務は見守りだけではなく、積極的な係わりをする②利用者の表情や言語からくみ取る想いや状況把握に努める③利用者の声を、内なる声を聴く。という支援体制をあげています。その具体的な方法の一つとして、夜勤者と利用者との係わりの時間としても活用できるのでは？とも考えました。

こうして夜の「喫茶」を開店してみると、事務所でのお茶会参加者は常連の数人でしたが、今では二十人近い利用者の方が喫茶を利用するようになりました。しかし飲み物の量も増え、種類も多く提供するにはどうしたらいいかと、自治会の役員さん達と相談して一回百円のチケット販売することにな



りました。チケットにしたので「喫茶」らしくという事で、カップやグラスも揃えました。

楽しみ方も人それぞれで、色々な飲み物を飲めることを純粋に楽しみにされて来る方や、他の利用者や夜勤者との交流の場としておしゃべりをしたり、新しく購入したCDを皆と一っしょに聞こうと喫茶

に持ってきたりする方もいます。この喫茶に参加している各々の利用者が、自分なりの楽しみをこの時間に見つけてくれているよううれしく感じます。そして、何より僕たち職員もゆったりと利用者の方と話をしたり、要望を聴くこともできる時間になっています。これまでは夜にこういった時間はなかったため、利用者の夜の余暇の過ごし方は居室でテレビを見たりラジオを聞いたりして過ごすといった方が多くいました。個人で過ごす時間とても大切だとは思いますが、それだけでなく他の方と交流できる時間も重要だと思います。これまで光が丘ワークセンターではそういった時間はあまりなく、余暇の過ごし方を提供する事が出来ずにいました。喫茶を始めた事で今まではなかった就寝までの間の過ごし方を提供する事ができ、新しい楽しみとして受け入れてもらえ、職員にとっても係わりの時間が出来、とても良かったと思います。



家族が最期を迎えようとした時の

家族への思いと決断

第三光が丘ハウス（高齢福祉二課）

花山 輝美

「おはようございます。」といつも通りの朝を迎える。

ここは、光道園・第三光が丘ハウス・柚子の木ユニットです。職員、利用者共なじみの関係を大切に過ごしています。

その中のお一人で今年九十六歳になられた男性Ｔさんは、いつもニコニコ笑顔で、用事のある時は「おい、おい。」と大きな声で呼んで下さる方です。でも3か月ほど前からだんだんとご自分で食事をされる事もなくなり、食事量も減り、大きな声で呼ぶ事も少なくなりました。近頃では好物のあんぱんを勧めても首を横に振り口にされず、目を閉じ眠ったような時間を過ごされる事が多くなりました。もちろん水分も摂れないので、点滴で水分を補わなければならなくなっていました。

家族の方にはその都度様子をお伝えしてきましたが、今後のＴさんについて鼻からチューブを入れての栄養摂取（経管栄養）が、十分な栄養摂取はできないが自分の食べたい時に食べられるだけ無理せずに食べていくか家族の思いを聞かせて頂きました。その結果、経管栄養は望まれず、高カロリー補助食品摂取や点滴での水分補給を継続し体調の変化を見させて頂く事になりました。

Ｔさんの息子さんは自営業をされ、商品に「かわらばん」として、エッセイがつけられています。今

回出された「かわらばん」には父親への看取り介護について書かれてありました。親族が本音で話し合い「人間の尊厳」「生命」「社会的に存在する意味」など色々な事を考え、思い、悩んだ結果として「最期を迎える時まで光が丘ハウスで暮らしていく」と決断をされたという事、そして大切な家族の今後を私達職員に託すという思いを知り胸が熱くなりました。

いつかは誰もが迎える「人生の最期」には色々なかたちがあると思います。

施設職員として、ご本人の生きる力の支えになり一日の当り前の時間の流れの中でいつもと同じ顔を見て、いつもと同じ音、声を聴き、家族との時間を大切にしながら穏やかに「人生の最期」を迎えて頂く事ができれば私達にとつて張り合いとなり嬉しく思います。



いろいろとりの棟活動

ライトホープセンター（援護一課）

玉村由妃

今年度に入り、援護一課では様々な棟活動を行ってきました。南棟では、利用者さんと一緒にどこへ行きたいかを決め、いくつかのグループに分かれ、夏から秋にかけて、ぶどう狩り、映画鑑賞、パン作りに行きました。

9月には、越前町の「泰澄の杜」でぶどう狩りをしました。この日は、いつもにも増して太陽の強い日差しに利用者さんも職員も汗だくになりながら、甘くて美味しいぶどうを夢中で食べました。「泰澄の杜」へ向かうマイクロバスの中は、まるでサウナ状態でした。みんな口々に『暑いわー』と言いながら、それでも待ちに待ったぶどう狩りへの期待に胸を膨らませていました。ぶどう狩りを始めると『どれが甘いの?』『大きいぶどうちょうだい!』と職員と一緒に広い



喫茶店でのワンシーン

ハウスの中を歩き、大きな巨峰を獲り『これ甘いわ』『こっちはイマイチや』と暑さも忘れ食べました。気温がとても高かったので、体力的に大丈夫かどうか不安でしたが、皆さん元気良く、逆に職員の方が疲れてしまっていたように思います。(笑) 甘いぶどうの香りと夏の暑さがとても印象に残った一日でした。

10月には、映画鑑賞として鯖江市の「シネマ7」で、「踊る大捜査線」を観ました。残念ながら私は行きませんでした。4年目の私が知る限りでは初めての活動なので、みんなの笑顔が目につきました。帰って来られてから、ネタバレにならない程度にお土産話を聞かせていただきました。(笑)



ぶどう美味しいなあ～

さらに10月には、鯖江市河和田町の「ラポーゼかわだ」へ行き、パン作りをしました。去年は中央棟の利用者さんだけしか行けず、うらやましく思っていたパン作りなので、今年はみんなの強い要望もあり南棟の利用者さんも行かれました。やはり自分で作ったパンは格別においしかったとのことです。

他にもいくつかの行事がありますが、自分達で意見を出し合って選択して楽しむ外出はとても有意義で特別なのだらうと感じています。今後も、利用者さんのみならず、職員も共に楽しめる棟活動を行っていききたいと思います。



外出は楽しいわ～

めんどうくせ！ 十年ぶりの沖縄

ライフトレーニングセンター（療護二課）

西井 侑子

十月二日～四日まで、利用者四名、職員三名、ボランティア一名で、沖縄へ行ってきました。九月末に沖縄に台風が発生し、旅行に行けるか不安でしたが、晴れ男晴れ女ということで、台風も通過し天気は晴天、気分も上昇、まさに旅行日和になりました。職員に見送られ「さあ、沖縄へ出発！」まず、飛行機では離陸するときのスピードと速さに少々驚いたり、窓からのきれいな青空、雲の景色を堪能したりとあっとこの間の飛行時間でした。夕方に沖縄に到着。めんどうくせ！でお出迎えです。



ランの花に
囲まれての
一枚です。

夕食は、沖縄琉球料理です。ミミガー、海ブドウなど聞きなれない料理名がたくさんありました。みなさん満足そうに食事を楽しんでいました。食事中に、沖縄の民族衣装を着た方の歌や踊りがありました。少しお酒も入り、上機嫌で皿を箸で叩き一緒に演奏に参加したり、踊りの後で衣装や髪飾り、楽器に触ることができ、首飾りをかけてくれたりと素敵な夜の舞でした。



巨大シーサー
に触って驚い
ています。

二日目の行先
は、子どもの国、
沖縄そば体験、
ピオスの丘。三
日目は、那覇空

港で買い物という旅行プランでした。特に思い出に残った二箇所のエピソードを紹介します。子どもの国では、うさぎ、ひよこ、亀に触ることができました。大きなうさぎを両手で抱えて触りに触りまくられ、うさぎの方が嫌がっている様子が伺えましたが、利用者のとってもうれしそうな笑顔が見られこちら



本人笑顔。
モコモコしてて
気持ちいいな。

まで気づいたら
みんなが終始笑
顔でした。

そして、動物の温かさに触れました。沖縄そば体験では、木のテーブルの上に粉をひいて、生地をこねて、のばし、切るまでの工程を一緒にしました。服の裾をまくり、とても真剣な表情で生地をこねる方、手や服を粉だらけにしながら生地を触っている方もいました。職員と一緒に作り、沖縄そばは平らで太くとてもおいしく頂きました。

職員の方が、飛行機大丈夫かなと不安なスタートでしたが、利用者はとても旅行慣れしており、利用者の方がとても元気でした。帰りの電車では、来



沖縄そば、
おいしく
できるかな？

年はどこに行こうかという声も聞けて、「また行きたい」と思ってくれた旅行になったのかなと思いうれしくなりました。皆さん、素敵な旅行をありがとうございました。

ボランティアとの絆シリーズ⑧

高齢者の皆さんに励まされ 元気をもらって

～オカリナの訪問活動を通して～

岩 崎 紘 一

定年後、オカリナを習い始めて6年になります。オカリナはイタリア語で「小さなガチョウ」という意味で、美しい癒しの音色を出す土でできた楽器です。

今年の春からは、第三光が丘ハウス（特養）で、毎月、一緒に講習を受けている小原さん、酒井さん達とともにオカリナの訪問活動を行っています。演奏する曲は童謡や唱歌、歌謡曲など古くから皆さんに親しまれているものです。

特に「みかんの花咲く丘」、「荒城の月」、「瀬戸の花嫁」、「ふるさと」などの歌はとても人気があり、かなり高齢の皆さんも覚えておられ、歌詞を見ながら一緒に歌うことができ、楽しいひと時を過ごしています。拙いオカリナの演奏でも一生懸命に歌っている高齢の皆さんの姿を見ると、私たちの方が励まされ、元気をもらっている状態です。

最近では、オカリナを演奏することは、ただ音を出

すだけでなく、お互いの気持ちを合わせ、その歌の作詞家、作曲家のころをいかに表現するかではないかと気づくようになりました。高齢者の皆さんがオカリ

ナに合わせて歌う姿を見ると、とても満たされた気持ちになります。

一緒に演奏している小原さん、酒井さんから「ボランティアをして良かった。」「ボランティアができるとは思わなかった。」「もっとお年寄りの皆さんと係わりたいと思う。」と率直な言葉が寄せられています。酒井さんは利用者の

方と心のケア、カウンセリングも始めています。

高齢の皆さんを励ます思いで始めたオカリナの訪問活動ですが、逆に私たちの方が励まされているのが現状です。これからも、高齢者の皆さんに励まされ、元気をもらって、オカリナが上手に演奏できるように、仲間とともに努力してゆきたいと思っています。



バレンタインには

チョコブラウニー♡

チョコブラウニーに最適な濃厚なクーベルチュールチョコレートを、オシャレにちょっと可愛くハートの形に心を込めて焼き上げました。



ホワイトデーには

クッキー★

スノーボールクッキーと、サブレは卵を使っていないクッキーです。ゴマ・紅茶・コーヒー・チョコアーモンド・バニラなど各種詰め合わせもご用意いたします。

手作り工房 フ・クレール

社会福祉法人 光道園 光が丘ワークセンター

住所：〒916-0146 福井県丹生郡越前町朝日 22

TEL：(0778) 34 - 2121

FAX：(0778) 34 - 8005

米粉パンの特徴

小麦のパンと比べて、水分が多くしっとり、もちもちした食感です。良質のたんぱく質を多く含んでいます。体内吸収を米粉が、押さえるので低カロリーです。

袋のままレンジで10秒位でふんわりとオープンで1分くらいで表面カリッとおいしく食べられます。

E-mail：selp-2@kodoen.or.jp

：fuclair@kodoen.or.jp



ふれあい交流 in 光道園

ミックパラーズ特集

創立 55 周年記念事業 八波一起氏講演会



ミックパラーズを語る山内 進氏



メンバーの演奏で歌う八波一起氏と職員

光道園の利用者・ミックパラーズをモデルにした演劇脚本「井の中の蛙 天を知る」が、八波一起氏によって書き上げられ、平成 14 年 10 月に、光道園創立 45 周年記念事業として、八波一起氏、職員、ボランティアの皆様の協力により、福井フェニックスプラザにて盛大に記念公演会が開催された時の様子などの講演とミックパラーズの演奏会が平成 24 年 7 月 12 日（木）にありました。



メンバーと共に歌う小山羊右氏（中央）



講演されている八波一起氏

『ふれあいコンサート』 主催：福井本丸ライオンズクラブ

平成 24 年 10 月 4 日（木）福井県立音楽堂ハーモニーホールふくい



全国郷土料理の日



平成23年度より、月に1度、『全国郷土料理の日』を設定し、昼食時にその県の郷土メニューを提供しています。県外出身の利用者も多く、馴染みのある故郷を思い出しながら食べていただけるようにと考えて、提供することにしました。

また、県内出身の利用者にとっても、初めて食べる珍しい食材や料理もあり、五感を働かせながら楽しんで食べている様子も見られ、新しい経験につながっていると思います。



今日のごはんも、うまいのお～



10月23日は山形県でした。メニューは肉そば、五目ぶかし、柿の白和え、ぶどうゼリーです。柿の白和えでは、柿に含まれる豊富なビタミンCと、豆腐の蛋白質とを合わせることで栄養的にも優れた料理となります。より分かりやすく伝えるために、その県の特産物や、料理名の由来となった話も紹介しています。

山形県出身の利用者に感想をお聞きしたところ、『おいしかった！また出してほしいなあ』と大変喜んでおられ、利用者の笑顔を見ることができました。郷土の味や、季節の味を楽しんでいただけますように、これからも工夫しながら食事提供していきたいと思っています。



新任職員の紹介

平成二十四年五月～十月採用職員

★氏名 ①趣味・特技

②好きな言葉 ③抱負など

鯖江事業所

ライフトレーニングセンター（療護一課）

★松田光子（生活支援員）

①手芸（ソーイング）

②『愛なき人生は暗黒であり、汗なき社会は堕落である』
③十月より一緒に働かせていただいています。また、職員として至らないところもありますが、適切な対応が出来るよう頑張りたいと思いますので、これからもよろしくお願いします。

朝日事業所

総務一課

★佐々木麻須美（管理栄養士）

①登山・ソフトボール ②『ポジティブ』

③十月から働くことになりました。一日も早く光道園での仕事に慣れ、笑顔と美味しい食事が届けられるように、努力をしたいと思います。よろしくお願いします。

ライフトレーニングセンター（援護一課）

★重山幸子（生活支援員）

①ハイキング ②『思いやり』

③はじめまして、九月より働かせて頂いております。光道園のような施設での仕事は始めてです。知らない事はかりに皆様の力を借りています。これからも頑張っていきたいと思っています。よろしくお願いします。



「俺たちの夏」

～野球部発足 10 年を迎えて～

企画調整室 青山 直人



今から 10 年前・・・皆さんは、その 10 年前の出来事覚えていませんか？サッカーのワールドカップで日本中が盛り上がっていた 10 年前。サッカー人気に逆行するように、その年、光道園野球部は誕生しました。集まったメンバーは、当時、若手と言われた男子職員。有り余る体力、キラキラ光る汗、まさに若さを全面に出した野球部の発足でした。

あれから 10 年・・・若い職員も加わり、軽快な動きを横目に、初期メンバーは若手から中年へとシフトダウン、有り余る体力は、ガス欠状態、キラキラ光る汗はギトギト脂汗へ。筋肉痛は週明けの月曜に現れ、階段昇降にも影響を及ぼしています。まさに「若さと中年のコラボレーション」で、楽しく活動しています。

野球部の活動は毎年、夏に開催される「全国福祉軟式野球大会 北陸ブロック予選」に向けて、週末に越前町内のグラウンド（通称：虎の穴）にて、練習を行っています。勤務や家族サービスなどもあり、なかなか全員が揃う事は難しいですが、『俺たちの夏』を合言葉に、今年もまた、高校球児並みの厳しい練習に取り組んでできました。練習の厳しさは、巨



地獄のキャンプの成果を → 見せつけた!!



夏の思い出に ハイ チーズ!!

人軍第一次長嶋政権時の『地獄の伊東キャンプ』を髣髴させます。（巨人、大鵬、卵焼き世代の皆様はご想像頂けるかと思ひます。）

オリンピックで盛り上がりを見せたこの夏も大会に参加しました。今年は、石川県にある小松ドームで開催されました。（毎年、素晴らしい球場で試合ができる事も、この大会の魅力です。）試合は、慣れない人工芝での試合という事もありましたが、強豪相手に、善戦!! 結果は、惜しくも負けてしまいましたが、結果以上に、内容に満足・充実した試合でした。

最後に、みなさん「そこに山があるから」という言葉はご存知ですか？イギリスの登山家ジョージ・マロリーの言葉で、「なぜ、あなたはエベレストを目指すのか？」との質問の答えです。

監督に「なぜ、野球部は 10 年続いたか？」その答えは「そこに仲間がいるから」と言ったかどうかは不明ですが、野球も仲間も大切にすることこそ産まれた名言ではないでしょうか。（「そこにビールがあるから」とも言った証言も・・・）

ちなみに、9 月の稲穂がたれる頃、野球部は、毎年恒例の「冬眠」に入ります。（活動休止ではなく、冬眠です。）しばらくの間は、家族サービスに徹するパパとして、自分の趣味の時間としての「俺たちの秋・冬」が待っています。

また来年、桜の季節にお会いしましょう。

のぞみ工房 陶華星

いつも光道園ライトワークセンターの「陶華星」を応援して頂き、誠にありがとうございます。

来年は巳年ということで、陶華星では開運干支「夢巳」の製作に励んでいます。来年が皆様にとって素晴らしい一年になることを祈願して、利用者の皆さんが真心をこめて作成しています。「蛇は苦手だなあ」という利用者もいますが、皆様に喜んでご愛用いただける作品をつくるために、苦手な蛇を毎日毎日磨いてあります。



〒916-8585 鯖江市和田町 9-1-1 光道園ライトワークセンター内「陶華星」

TEL : 0778-62-8103

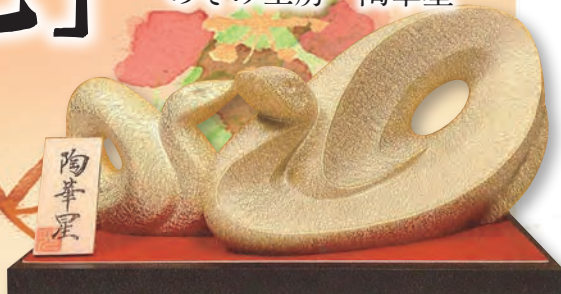
FAX : 0778-62-3775

開運干支「夢巳」

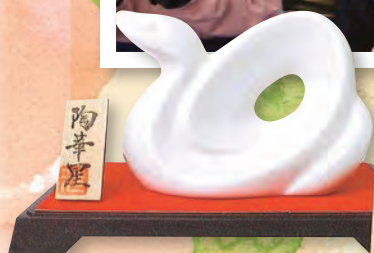
一年の幸せを祈願いたします。
のぞみ工房 陶華星



A. 白 3,500 円



A. 金 4,500 円



B. 500 円



C. 500 円

のぞみ工房 **陶華星**

〒916-8585 鯖江市和田町 9-1-1
光道園ライトワークセンター内「陶華星」
TEL : 0778-62-8103
FAX : 0778-62-3775



D. 700 円

社会福祉法人 光道園の施設

社会福祉法人 光道園 法人本部	鯖江市和田町 9-1-1	養護老人ホーム・第一光が丘ハウス	丹生郡越前町朝日 22-7-1
障害者支援施設・ライトワークセンター	鯖江市和田町 9-1-1	養護盲老人ホーム・第二光が丘ハウス	丹生郡越前町朝日 22-7-1
障害者支援施設・光が丘ワークセンター	丹生郡越前町朝日 22-2-2	特別養護老人ホーム・第三光が丘ハウス	丹生郡越前町朝日 22-7-1
障害者支援施設・ライトホープセンター	丹生郡越前町朝日 22-3-1	通所介護事業所・デイサービスセンターさざんかホール	丹生郡越前町朝日 22-7-1
障害者支援施設・ライフレニングセンター	鯖江市和田町 9-1-1	訪問介護事業所・ヘルパーステーションさざんか	丹生郡越前町朝日 22-7-1
生活介護・たねのいえ	鯖江市和田町 9-1-1	居宅介護支援事業所・さざんかホール	丹生郡越前町朝日 22-7-1
		越前町障害者支援センター・さざんか	丹生郡越前町朝日 22-7-1
		障害者支援センター・こうどうえん	鯖江市和田町 9-1-1